

## 台湾

## 遠東紡、上海 PTA 工場を拡張へ

台湾遠東紡は、6 億ドルを投じて、中国上海の PTA 工場を増設する計画である。同社によると、同社の PTA 事業は、2008 年は赤字であったが、2009 年は、景気回復に伴い、PTA 価格が反発したことで、中国、台湾の事業で 30 億台湾ドルの利益（台湾 10 億、中国 20 億）を上げたという。現在、同社の PTA 設備能力は、台湾が年産 90 万ト、中国が年産 60 万トであるが、ともに年産 120 万トに増設する。現在、台湾では観音工場付近に新たな土地を探している。その後、環境アセスメントを行うという。一方、中国では政府の認可待ちであるという。

## 中国

## 第 1 四半期の繊維産業の業況

4 月 8 日、中国紡織工業協会は 2010 年第 1 四半期業界経済運行分析会を開催し、最近の繊維業界の動向について分析を行った。本会議には、中国紡織工業協会の杜钰洲会長のほか、許坤元、王天凱、陳樹津、高勇、孫瑞哲、徐文英の副会長が参加した。

2010 年 1-2 月の繊維業界は、2009 年第 2 四半期以来の景気回復状況が続いている。同時に、前年同期の数値が低いことから、2010 年 1-2 月の各データは前年同期比で大幅に上昇しているという。

2010 年 1-2 月の繊維業界の総生産高は前年同期比 27.05% 増、販売生産高は前年同期比 27.08% 増と、ともに高い伸びとなった。セクター別にみると、綿紡業界の生産高の伸びが最も貢献し、続いてアパレル、化繊業界となっている。また、規模以下企業の生産販売の回復は規模以上企業より速く、主要繊維製品の生産量の成長幅も大きくなっている。

1-2 月の利益総額は前年同期比 74.59% 増の 228.17 億元となった。規模以上企業の利益の伸びが規模以下企業の伸びより大きい。セクター別にみると、綿紡業界、化繊業界の利益が大きかった。

投資は引続き回復している。2010 年 1-2 月の繊維業界の固定資産投資総額は前年同期比 23.26% 増の 218.72 億元、繊維機械業界の投資が前年同期比で減少した以外、各業界とも投資が拡大している。地域別にみると、中部地域の投資の伸びが最も大きく、1-2 月の中部地区の投資は前年同期比 33.41% 増となった。東部地区は 19.43% 増、西部地区は

17.24%増となった。一方で、新規着工プロジェクトはまだ活発化しておらず、新規着工プロジェクト件数は前年同期比で減少している。

2010年1-2月の中国の繊維品輸出は前年同期比29.07%増の289.74億ドル、仕向地でみると、先進地域より発展途上地域向けの輸出の伸びが大きく、中でもアセアン向けの増加が目立った。

2010年1-2月の国内販売向け生産は前年同期比30.35%増となった。アパレルの伸びが大きく、平均を5.4ポイント上回った。中でも規模以下企業の国内販売の回復は規模以上企業より大きかった。

規模以上企業の雇用は前年同期比0.55%増となった。化繊、染色、アパレル業界の雇用は拡大しており、特に、中部地区の雇用の伸びが目立った。

業界アナリストによると、2010年に繊維の各経済指標が急速に改善した理由として、前年同期の基数が低かったこと、2010年に入り、世界経済は底を打ち、景気回復の兆しがみえており、消費が拡大、中国からの輸出が回復しつつあることが要因と分析している。下半期については、繊維輸出では、海外需要は依然として不透明であり、貿易保護主義や人民元切上げ圧力などもあることから、その影響が予想されている。一方で、国内需要については、政府のマクロ経済政策が引続き実施されることから、力強い成長をみせ、業界の生産・販売は伸びるとの見通しである。しかし、原料価格、労働コストの上昇で企業の利益は圧縮される見通しのほか、中小企業の資金調達難、地域間の経済格差の矛盾が表面化する懸念もあるとしている。